

週刊センターニュース No.267



第267号(2009年7月13日) 毎週月曜日発行
発行: 金沢大学 大学教育開発・支援センター
URL: http://www.kanazawa-u.ac.jp/faculty/daikyou_rche/index.htm

〇●〇 共同学習会のご案内 〇●〇

第237回

日時: 7月14日(火) 10時30分～12時(通常の実施曜日時限と異なりますのでご注意ください)

会場: 角間キャンパス総合教育1号館2階会議室

企画: 西山宣昭(大学教育開発・支援センター)

報告者: 鈴木克徳(フロンティアサイエンス機構)、西山宣昭(大学教育開発・支援センター)

テーマ: 「金沢大学における環境教育の組織化に向けて」

趣旨: 昨年度9月、本学環境委員会の下で環境教育検討会により策定された「金沢大学における環境教育・持続可能な社会づくり教育強化の提案ー持続可能な社会づくりに向けたフィールド重視の環境学ー」では、本学ですでに開講されている様々な環境関連科目を組織化するとともに新規の科目の開発を行い、環境教育を強化することおよびその必要性を提言している。今回は、本提言の趣旨を理解するとともに、本提言に基づき今年度より新規に開講されている共通教育科目の紹介、戦略的大学連携GPの事業の一環として検討が始まっている環境教育教材の開発、カリキュラム検討委員会で議論が開始された学際型の環境関連の副専攻の立ち上げなど、環境教育の開発の現状を紹介する。本学における組織的な環境教育を進める上でいかなる課題が存在するかについて参加者と議論したい。

第238回

日時: 7月16日(木) 16時30分～18時

会場: 角間キャンパス総合教育1号館2階会議室

企画: 竹本寛秋(大学教育開発・支援センター)

報告者: 土井元信((株)内田洋行)、糸川 寛((株)フォトロン)

テーマ: 「授業方法改善のための新たな機器について」

内容: PF-NOTE をはじめとする授業運営、授業改善に資する情報機器システムに関して報告する。

PF-NOTE は、クリッカーと映像収録の統合により、授業内のコミュニケーションを促進すると共に、学生や教師の授業振り返りを支援するツールとして開発されたものである。今回は PF-NOTE で何ができるか、その可能性に関する報告をもとにして、授業改善のための情報機器に関する議論を深めたい。

〇●〇 平成21年度全国IT活用教育方法研究発表会参加報告 〇●〇

本発表会は、全国の国公立大学・短期大学教職員を対象に、教育改善のためにIT活用によるFD(ファカルティ・ディベロップメント)活動の振興普及を促進・奨励し、その成果の公表を通じて大学教育

の質的をはかることを目的としている。

以下に、筆者が参考となった発表のひとつを紹介する。

「薬・医・歯・保健医療学部横断 PBL における自己主導型学習」 (昭和大学 大林真幸 氏)

近年、「患者中心」という考え方から、医療現場では患者に合わせた専門チームが組まれるようになってきた。すなわち、医師、看護師、薬剤師、医療技師たちが各分野の知識・技能を提供し合いながら患者のために最善の活動を行うことに焦点をあてている。しかし、現在の学部医療教育における集団学習は、内容の高度化に共だって学生・教員の均一性がました中で行われており、換言すれば「学部でグループ学習を行ったからと言って、多様な専門家が補い合う現場のチーム活動に必要な協調性や役割理解には直結しにくい」という問題が生じている。そこで昭和大学では、医学部・薬学部・歯学部・保健医療学部(看護、理学療法、作業療法)が学部横断型のチームを作り、PBL(Problem Based Learning)を行っているとの紹介がなされた。

学習の概要は、患者の所見を読み、症状や対応を協議し、医療行為を行っていくというものである。興味深いことに、この所見には、(現場では当然のことであるが)歯学分野では歯学部でないと理解できないような記述があり、理学療法分野を学んでいないと理解できない記述がある。したがって、学生は各分野での専門的役割を求められ、他分野のメンバーに対して、知識や技能、関与のあり方、治療の問題点を積極的に共有していかなければ課題をクリアできない。

ちなみに学習支援の体制として、ファシリテータである教員が面談と Web を通して彼らの活動を支えている。Web の支援は掲示板機能によるディスカッションとレポート提出機能を用いている。

この発表を聞き、他学部混成という発想は、本学に置いても可能性を感じさせる学習形態だと感じた。すなわち、16 学類にわたる多様な学生がそれぞれの専門性を持ち寄り、学部の壁を越えたグループ・ディスカッションによって、刺激や創発の起因につながる機会が提供できるように思う。もちろん実施を考えた場合には、解決を要する明瞭な課題設定と学生に先立ち部局を超えた教職員の共同が必要となるであろう。

(文責 FD・ICT 教育推進室 末本 哲雄)

〇〇〇「平成 21 年度教育著作権セミナー」のご案内 〇〇〇

このたび金沢大学では、放送大学学園との共催で「教育著作権セミナー」を下記の通り開催いたします。著作権制度の概要、大学教育における著作物の利用、ICT 活用教育推進における著作権の課題などについて解説します。ぜひご参加ください。

日時：平成 21 年 7 月 21 日(火) 13:00 - 17:00

場所：金沢大学自然科学系図書館内 AV ホール

講師：尾崎士郎氏(放送大学 ICT 活用・遠隔教育センター教授)

対象：大学等の教員、事務職員その他大学等の関係者、著作権に関する知識を必要とする人

※ 内容詳細・参加申込は、http://www.code.u-air.ac.jp/seminar/seminar_h21/090721/resume.htmlにてご参照ください。(当日参加も可能ですが、資料作成の都合上なるべく参加申込をお願いいたします)